

実習候補生 スカイプで面接

海外渡航省く 王寺の監理団体 試行



インターネット電話を利用して、技能実習候補生と面接をする森社長（左）ら（大和高田市で）

外国人材 @奈良

相手国の送り出し機関と

連携して外国人技能実習生に実習先をあつせんする王寺町の監理団体「中央技術交流協同組合」（吉岡弘修代表理事、23社）は、加盟企業が行う実習候補生との面接にインターネット電話「スカイプ」を初めて導入した。

技能実習候補生の面接は、これまで受け入れ企業の幹部が直接現地で行っていた。時間的な制約があり、日程調整も難しかったため、経費削減にもつながるインターネット電話による面接を試行的に導入した。

ベトナム人実習生5人を受け入れている大和高田市の金属加工業「M・T・C」が19日、取り入れた。同社とベトナム・ハノイ市の会議室をスカイプでつなぎ、

通訳は監理団体と送り出し機関の職員がそれぞれ担当した。2人の採用枠に対して、技能実習候補生6人が面接に臨んだ。

同社幹部が「日本で実習を希望する動機は」「将来は何がしたいですか」などと質問。候補生は一つひとつの質問に、丁寧に答えていた。合否はその場で伝えられた。

森久次社長(56)は「互いの顔の映像を見ながら話ができ、違和感はなかった。他の企業にも推奨したい」と話した。今後、中央技術交流協同組合の加盟企業は、現地面接とスカイプ面接を選択できるようになるという。

◇春季近畿地区高校野球大会 県予選(21日、佐藤薬品スタジアム)

▽2回戦 郡山6―3生駒、平城6―5西和清陵(延長10回)、天理9―8高取国際